

第41回 日本整形外科学会基礎学術集会 講演一覧

会長講演

タイトル	講 師	抄 録	会 場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751
私の整形外科研究 ―基礎から臨床、 社会実装まで―	秋山治彦	S1586	1	15日	13:20-14:20	N	1	014

特別講演

No.	タイトル	講師	抄 録	会場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751
1	交通事故の死傷者低減を目指した バーチャル人体モデルの開発	岩本正実	S1771	1	16日	14:20-15:20	N	1	037

海外招待講演

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751
1	Precision oncology through targeting the p53 tumor suppressor pathway in bone and soft tissue sarcomas	Tomoo Iwakuma	S1769	1	16日	12:00-13:00	N	1,5	031

教育研修講演

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時	単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751	他学会 単位	
1	変形性膝関節症に対する再生医療の 現在地と適正使用 ―世界の開発動 向と日本における評価基盤の構築―	佐藤正人	S1679	8	15日	8:30-9:30	N	1,12	001	
2	臨床応用を目指した骨代謝の基礎研 究	宮本健史				9:40-10:40	N	1,4	005	
3	問題事例から見た医療倫理等の注意 点	塚田敬義	S1680			10:50-11:50	N	14-3	007	
4	Awareness AIロボットシステムによる運 動器疾患への挑戦	下田真吾				14:40-15:40	N,Re	1,13	016	リハ学会 (予定)
5	ヘルスケア領域における基礎研究から の新事業創出 ―大企業・スタートアッ プ・財団法人での実践―	山名 慶	S1681			15:50-16:50	N	1	017	
6	整形外科医のためのバイオメカニクス 入門 ―材料力学から固定の安定性 まで―	渡部欣忍	S1818	5		15:30-16:30	N	1	039	
	整形外科医のためのCTベース有限要 素解析 ―基礎から解析ワークフロー まで―	三又秀行								
7	整形外科研究・教育におけるシミュ レーションと三次元解析技術の活用	高橋博史	S1819							
8	自然リンパ球による骨・関節恒常性機 構	小俣康德	S1864	8	16日	8:30-9:30	N	1	022	
9	運動器リハビリテーションにおけるDX の展開	青山朋樹				9:40-10:40	N,Re	13	025	リハ学会 (予定)
10	教育は業績になるのか? ―日本初 “教育”を専門とする臨床系主任教授 の現在・過去・未来―	磯部真倫	S1865			10:50-11:50	N	14-5	029	
11	マイクロニッピグが拓くトランスレー ショナル研究 ―小さなブタの大きな 可能性―	高須正規				12:00-13:00	N	1	030	

学術変革講演

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時	単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751	
1	軟骨の発生・分化研究と軟骨疾患治療法の開発	妻木範行	S1590	2	15日	8:30-9:30	N	1,3	002
2	骨イメージング技術がもたらす整形外科基礎研究領域の学術変革	石井 優	S1591			10:50-11:50	N	1	008
3	Clinical questionを明らかにするための柔軟性と積極性	今井祐記	S1592			14:30-15:30	N	14-5	015
4	運動機能とOAの遺伝的基盤 —半月板・軟骨・腱の統合解析—	浅原弘嗣	S1775		16日	9:40-10:40	N	1,12	026
5	骨免疫学からストローマ免疫学, 神経骨免疫学へ	高柳 広	S1777			15:30-16:30	N,R	1,4	038
6	治療目標を目指した骨粗鬆症治療	田中 栄				16:40-17:40	N	4	043

ミライエ講演

No.	タイトル	講 師	抄 録	会場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751
1	整形外科医による医用画像解析 —医工連携研究の可能性と課題—	上村圭亮	S1590	1	15日	16:10-17:10	N	1	021
2	生成AIは整形外科医をどう変えるか —教育・研究・診療における実装と展望—	牧 聡	S1591	2		9:40-10:40	N	14-5	004
3	もう一步進んだ 論文執筆における生成AIの使い方 —エージェント型AIとの共創—	竹上靖彦	S1775		16日	8:30-9:30	N	14-5	023
4	運動器領域におけるAI駆動型データベース活用の最前線 —画像・臨床データ統合による新たな知見創出と臨床応用—	岡 敬之	S1776			10:50-11:50	N	14-5	028
5	化学療法にも精密医療を —SLFN11とDNA損傷応答が切り拓く新戦略—	村井純子	S1784	3		15:30-16:30	N	1,5	040

共同シンポジウム

No.	タイトル	座 長	抄 録	会場	日 時	
1	日本の膝OA疫学研究の最新エビデンス	石島旨章, 関矢一郎	S1581-3	1	15 日	8:40-10:10
2	臨床骨免疫研究の最前線	高柳 広, 田中 栄	S1584-5			10:20-11:50
3	骨・関節を“つなぐ”腱・靱帯研究:骨代謝学会と日整会基礎学術集会を“つなぐ”新展開	宿南知佐, 浅原弘嗣	S1587-9			14:30-16:00
4	運動器の再生医療の現状と展望	中村雅也, 黒田良祐	S1764-6		16 日	8:40-10:10
5	整形外科基礎医学と骨免疫学のマリアージュ	今井祐記, 宮本健史	S1767-8			10:20-11:50

シンポジウム

No.	タイトル	座 長	抄 録	会場	日 時	単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751	
1	力学が拓く整形外科 ―CTベース 有限要素解析の最前線―	渡部欣忍, 稲葉 裕	S1593-5	2	15日	16:05-17:35	N	1	020
2	上肢のバイオメカニクス・イメージング 新領域	岩本卓士, 今井晋二	S1596-8	3		8:40-10:10	N	1	003
3	がん口コモのこれから	河野博隆, 小林英介	S1599-601			10:20-11:50	N,Re	5,13	006
4	骨癒合促進のための新しい工夫	吉井俊貴, 谷口 昇	S1606-8			15:40-17:10			
5	整形外科領域のベンチャー・スタート アップ	松田秀一, 本間康弘	S1772-4	1	16日	16:10-17:40	N	14-5	041
6	異所性骨化の分子標的制御	宮腰尚久, 藤田順之	S1778-80	3		8:40-10:10	N	1,4	024
7	末梢神経の再生医療研究	河村健二, 池内昌彦	S1781-3			10:20-11:50	N	1,8	027

ランチョンセミナー

No.	タイトル	講師	抄 録	会場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751	他学会 単位
1	痛み診療に役立つ医療面接技術と薬物療法 ―Miro-Hers試験の知見も含めて―	豊田宏光	S1586	1	15日	12:00-13:00	N	1,8	009	手外科 学会 (予定)
2	肩峰下滑液包を用いた腱板修復促進―基礎から臨床へ―	森川大智	S1592	2			N	1,9	010	
3	手のコモンディズイーズの病態と最新治療	河村健二	S1602	3			N	10	011	
4	エビデンスと症例から再考するTHA ―CT-based roboticsによるTHA個別化治療戦略とは―	佐藤敦子	S1633	5			N	11	013	
5	感染症リスク再考:古典的リスクの本質に迫る―慢性炎症・酸化ストレス・バイオフィーム研究の先にあるもの―	斎藤 充	S1655	6			N	6	012	
6	変形性膝関節症に対するAPS療法―実践的導入と検証型診療への展望―	佐藤正人	S1770	1	16日	13:10-14:10	N	12	032	
	変形性膝関節症に対するPRP注射後の軟骨厚変化	関矢一郎								
7	テリパラチドと運動療法による骨粗鬆症性椎体骨折と脊柱後弯症の治療―エビデンスと最近の話題―	宮腰尚久	S1776	2			N	4,7	033	
8	難治性骨折に対する自家末梢血CD34陽性細胞移植	黒田良祐	S1784	3			N	1,2	034	
9	神経障害性疼痛から考える腰下肢痛診療のグレーゾーン	玉井孝司	S1817	5			N,SS	8	035	
	慢性腰痛診療のアップデート	鈴木秀典								
10	骨粗鬆症脊椎固定におけるセメント注入型椎弓根スクリュー(CAFPS) ―CT解析に基づくセメント漏出リスクの層別化―	篠原 光	S1835	6			N	7	036	
	Cement-augmented pedicle screwを使用した脊椎後方固定術における分節静脈へのセメント漏出の危険因子	二川隼人								

アフタヌーンセミナー

No.	タイトル	講師	抄 録	会場	日 時		単位 取得	必須 分野	認定番号 26-0751
1	整形外科インプラントに伴うコバルト血症の最前線 ―臨床的実態から基礎的解析まで―	本間康弘	S1660	6	15日	16:00-17:00	N	11	018
	当科におけるNavbit sprintシステム併用THAの短期成績 ―POLARSTEMからShort Fit & Fill Stemへ―	山本豪明							
2	血友病性関節症に挑む ―整形外科医に求められる視点とは―	刀根慎恵	S1678	7			N	3	019

日整会認定教育研修 受講取得単位 (認定単位種別)

N:日整会専門医単位 S:スポーツ医単位 R:リウマチ医単位
SS:脊椎脊髄病医単位 Re:運動器リハビリテーション医単位

日整会認定教育研修 受講必須分野 (専門医必須14分野)

- 1 整形外科基礎科学
 - 2 外傷性疾患(スポーツ障害を含む)
 - 3 小児整形外科疾患(先天異常, 骨系統疾患を含む, ただし外傷を除く)
 - 4 代謝性骨疾患(骨粗鬆症を含む)
 - 5 骨・軟部腫瘍
 - 6 リウマチ性疾患, 感染症
 - 7 脊椎・脊髄疾患
 - 8 神経・筋疾患(末梢神経麻痺を含む)
 - 9 肩甲帯・肩・肘関節疾患
 - 10 手関節・手疾患(外傷を含む)
 - 11 骨盤・股関節疾患
 - 12 膝・足関節・足疾患
 - 13 リハビリテーション(理学療法, 義肢装具を含む)
 - 14-1 医療安全
 - 14-2 感染対策
 - 14-3 医療倫理
 - 14-4 その他の共通講習
 - 14-5 1～13に当てはまらない領域講習
-

14-1～4は機構認定専門医共通講習。

14-1～3は機構認定専門医必修講習で, 5年間で各1回以上受講しなければならない。